目指せ!! 日本一の中小企業・ベンチャー立県

栄えある第７回受賞者（４月26日の表彰式）

第7回表彰式　埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰

埼玉産業人クラブは4月26日、さいたま市浦和区の浦和ロイヤルパインズホテルで「埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」（埼玉県、埼玉りそな銀行、日刊工業新聞社後援）の第7回表彰式を開いた。会員ら約160人が集い、埼玉県知事賞を受賞したニッシン自動車工業（加須市）の亀田藤雄社長や埼玉産業人クラブ会長賞を受賞したワックデータサービス（富士見市）の渡辺和久社長ら受賞者5人をたたえた。上田清司県知事（松岡進産業労働部長代読）は「東日本大震災で日本経済は深刻な打撃を受けたが、こういう時こそ未来志向が必要だ」とあいさつした。表彰後は受賞者が自社のビジネスモデルを発表。参加者は皆、真剣な表情でそれぞれの成功事例に耳を傾けた。

優れたビジネスモデル表彰

「埼玉県ちゃれんじ企業経営者表彰」は埼玉産業人クラブ（会長＝増田文治マスダック社長）が埼玉県、埼玉りそな銀行、日刊工業新聞社の後援、埼玉県商工会議所連合会ほか7団体の協力を得て創設した。第7回を迎えた今回も、優れたビジネスモデルで事業を展開する多くの応募者から受賞者が決まった。

埼玉県知事賞はニッシン自動車工業（加須市）社長の亀田藤雄氏、埼玉産業人クラブ会長賞はワックデータサービス（富士見市）社長の渡辺和久氏に贈られた。特別賞は高橋スプリング（越谷市）社長の高橋良彰氏、右門（川越市）社長の町田明美氏、アーネスト（吉川市）社長の永塚政義氏が表彰を受けた。

審査委員を務めた増田埼玉産業人クラブ会長は「受賞を契機により一層皆さまの企業活動が拡大するように、この場で大いに会社を自慢してほしいと思います。本日はおめでとうございました」と受賞者をたたえた。

恒例となった「受賞記念プレゼンテーション」では受賞者が自ら創業の経緯、経営者としての苦労や努力、ユニークなビジネスモデルや今後の事業展望にかける熱意などを語った。

引き続き開かれた懇親会では、関東経済産業局の増田仁産業部長、日刊工業新聞社佐野友昭専務があいさつ。埼玉りそな銀行の上条正仁社長による乾杯の発声で、埼玉産業人クラブならではの活気に満ちた雰囲気の中、受賞者を中心に交流の輪が広がった。

受賞者に贈られる記念品は毎年、美しいデザインと趣のある県の伝統工芸にしており、今回は知事賞と特別賞に橋本弥喜智商店（加須市）の破魔弓が贈られた。

審査委員を務めた増田埼玉産業人クラブ会長

祝辞

本日、埼玉産業人クラブが主催する第7回埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰の表彰式が盛大に開催されたことを心からお祝い申し上げます。

栄誉ある賞を受賞された皆さま、誠におめでとうございます。このたびの受賞は、皆さまの経営に対する情熱と不断の努力、そして新たな事業にチャレンジし、道を切り開こうとする精神が高く評価されたものです。皆さまのさらなる活躍を御期待申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災により、私たちは未曽有の危機に直面しました。生産設備等の損壊や取引先企業の被災による原材料の供給不足、計画停電の影響などにより生産活動が低迷し、日本経済は大変深刻な打撃を受けています。県では、震災の影響で売り上げが減少している県内中小企業への金融支援を行うなど、素早い対応を図ってきました。

松岡 進 産業労働部長
（上田 清司 県知事代理）

チャレンジ精神に期待

同時に、電力需要がピークを迎える夏季に向けて、計画停電に代わる実効性ある節電対策を政府や東京電力に強く要請したところです。

2011年度は、将来を見据えた〝未来への投資〟として新たな成長分野に参入する中小企業の支援に取り組んでいきます。

具体的には『次世代自動車支援センター埼玉』を新たに開設し、県内製造業の次世代自動車産業への市場参入を支援します。

加えて、グローバル市場の開拓を支援するため、昨年11月に開設した上海ビジネスサポートセンターを拠点として、中国や東南アジア諸国連合（ASEAN）地域への進出も支援していきます。

経営のかじ取りが困難な時期ですが、皆さまにはチャレンジ精神を発揮して、新たなチャンスを見いだしていただきたいと思います。

県では今後も、懸命に努力されている皆さまを、柔軟かつ迅速な政策で応援し、本県産業の振興を図っていきます。

第30回西海記念賞　協和合金とモスト技研に

第30回西海記念賞は協和合金（川口市）の松本修一氏とモスト技研（日高市）の見崎秀行氏が受賞した。埼玉産業人クラブは、定時総会の場で同賞の授与式を開き、受賞者へ記念品を贈った。

協和合金が製品化したスターリングエンジンのアルミダイカスト製卓上模型は、ヒートキャップを炎で加熱すると駆動音とともに外部のホイールが回転する。1月にホビー商品として発売し、現在累計販売数は約150台。寸法精度の追求により安定して駆動することが、評判を呼んでいる。海外からも引き合いが相次いでおり、今後さらなる拡販が望めることが受賞につながった。

一方、モスト技研は段ボール箱や緩衝材など梱包資材の設計・製造が主力事業。段ボール組み合わせ構造などに関する複数の特許技術を生かし「小型・軽量化を進め、取引先の物流のトータルコスト削減につなげる提案をしている」（見崎氏）という。木材や発泡スチロールの消費量を減らし、環境負荷低減に貢献している点が高く評価された。

また同社は2010年に自社製品として強化段ボール製のベッドを発売した。段ボール製なので処分しやすく、リサイクルも可能。このメリットを多方面に訴求し、販路拡大を進める方針だ。

西海記念賞は、2代目埼玉産業人クラブ会長の西海図至夫氏による寄付金を基に、創意・工夫・発明考案・技術技能改善に功績を上げた会員企業の従業員やグループなどを毎年表彰している。81年に制度が始まり、今回で30回目となった。

㊤協和合金が製品化したスターリングエンジンの卓上模型
㊦モスト技研の段ボール製ベッド

受賞した協和合金の松本氏（前列左）**とモスト技研の見崎氏**（同右）

SAITAMA ビジネスライン
埼玉産業人クラブ

「埼玉産業人クラブ」第48回定時総会（2011年4月26日）

入会のご案内

時代を生き抜く
確かなビジネスパートナー
異業種交流会でつかむ
ビジネスチャンス!!

埼玉産業人クラブは、48年にわたって培ってきた知的財産、人的ネットワーク、会員の英知を結集して、先進的な活動を展開しています。
また、埼玉県の経済・産業発展を願って、埼玉県をはじめ関係各団体の後援、協力を得て「埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」を04年に創設しました。
詳しくは「埼玉産業人クラブ」のホームページをご覧ください。

埼玉産業人クラブ
会長 増田文治
日刊工業新聞社さいたま総局 TEL048(872)2281 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-12-4 FAX048(872)2285
日刊工業新聞社川越支局 TEL049(229)2225 〒350-0043 川越市新富町2-22 FAX049(226)7578
部会活動
●NITEC埼玉産学交流会　●TDU産学交流会
●経営研究部会　●埼玉ビジネス研究会
●産友会
※「企業PR部会」「人材開発部会」は経営研究部会に統合されました。
http://www.sangyojin.org　E-mail : clubsaitama@sangyojin.org

がんばる中小企業をとことん支援します
次世代自動車支援センター埼玉をご利用ください

次世代自動車支援センター埼玉は、県内中小企業の次世代自動車産業への転換・参入を促進し、県内の基幹産業である自動車産業の更なる基盤強化を図るため、自動車メーカー出身者の専門家による徹底支援を行います。相談は無料です。

国内外自動車メーカーなど
提案
ビジネスチャンス創出
〈次世代自動車支援センター埼玉〉
○技術開発支援
○グローバル調達につながる販路開拓支援
○県内自動車関連企業の相談対応
継続的支援　相談　継続的支援
県内自動車関連企業／中小製造業

相談の申し込み・問い合わせ先　相談日●月～金（年末年始・祭日は除く）　相談時間●9:00～17:00
次世代自動車支援センター埼玉　〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合2-3-2 新都心ビジネス交流プラザ3F
TEL：048-621-7051　FAX：048-857-3921